

1 4. 竹原市最高峰

洞山 (544.3m)

竹原市／東広島市



竹原市街の中心部から約10km北西に位置し、東広島市との境にある。山。竹原市を貫流する賀茂川を発する山で、洞山の北側は2号線が走り、古代から、交通要衝の地であった。

竹原市 2017,4,1 推定

<面積>	118.23km ²
<人口>	25,512人
<人口密度>	216人/km ²

【山行日】1月26日(金) ☆天候：雪、曇り時々晴れ

【参加者】3名 CL杉山 博 坂井 新江

【コースタイム】

東広島天文台駐車場 10:35→ 11:25 洞山 11:35→ 東広島天文台駐車場 11:55

【報告】

竹原市の最高峰になっているが、東広島市側からの登り口しか分からない。頂上までそんなに距離がないし、天文台駐車場近くの見晴らし台から西条の町が見えるくらいで景色が楽しめる山でもない。2回下見に行ったがみんなに勧められる山行に思えず、計画がなかなか立てられなかった。

やっと重い腰を上げて期日を決定したのに、その日は何と大寒波の後の雪が残っていて、雪もちらつく日だった。天文台を目指して車を走らせていると鹿が2頭、森の中へ逃げ込んだ。こんな里の近くまで下りて来ている。天文台の駐車場に着くと白い犬が近づいてきた。首輪をはめていないが野良犬ではなさそう。でも何か物悲しそうな犬だ。天文台は通常は一般には開放してなくて、行事がある時に開館しているようだ。誰もおられない感じがしたが、機械は動いていた。無人でも常時宇宙を観察しているのだろうか。

山へ向かう。入り口は鹿・猪対策のためかそれとも松茸の季節の人間対策のためか高い柵がずっとはりめぐらされている。登山道には雪が残っていてその下の土は凍って霜柱ができている。足を運ぶ度に、ザクザク音がする。後ろを追う女年寄は年甲斐もなくわざと踏んでその音を楽しんでいる。すぐ着くはずと進んで行くが、この山は里山なのでいろいろな道がある。

下見はしているが、同じ道ではないので迷う。正しい道を進んでいたのにそれも違う感じがしてあちこち探し回る。到着できなかつたらどうしようと焦ってくる。特に道づれがこわ〜い2人だ。何を言われるか……。

ちゃんと到着！ 頂上付近は木が切ってあって、陽がよく当たるようになっている。我々だけの足跡でなく他の人の足跡がある。道は荒れていないので登る人は多いのかもしれない。しかし、頂上の眺望はよくないので、写真を撮ってすぐ下山を目指す。帰りも霜柱の音は続く。すんなり下りてあの犬の出迎えを受ける。責任を果たしてほっとした。

(記 杉山 博)



洞山から賀茂川は流れでている。

賀茂川と言えば、京都を思い浮かべる。洞山の辺りには、東広島市も含めて、賀茂がつく地名や物が多い。清酒賀茂鶴、賀茂高等学校、賀茂工業団地 etc.....。

古代、この辺りは京都の下鴨神社の荘園として開墾され発展したので、「賀茂」の名が付くようになったらしい。竹原の町をつくったのは、賀茂川。賀茂川は流れがおもしろい。洞山から東に流れ、山陽道に接する辺りから南に流れ瀬戸内海に注いでいる。江戸時代、竹原の三角州を干拓したが塩害で使えなかった。その地を赤穂の人が塩田として開発し、広島で塩の町として初めに栄えたのは竹原だった。上・中流域は縄文、弥生の石器や土器が出土し、古墳も発掘されている。今は中流に仁賀ダムが建設され、竹原の町を洪水から守っている。賀茂川ぞいには傷ついた鶴が飲んで傷が治ったことから「鶴の井」と言われる温泉がある。古くから親しまれ、古代山陽道の宿場町でもあった湯坂温泉郷である。また、中流域はホタルの里としても名が知られているようである。



仁賀ダム



湯坂温泉郷



竹原市最高峰洞山の頂上で



今までやまぼうしで登った竹原市の
他の山

朝日山 黒滝山